

2018 日本機械学会 年次大会 市民フォーラム

(法工学専門会議・関西大学法科大学院共催)

模擬裁判:「電動車椅子の安全性」を裁く

日時: 2018年9月9日(日) 13時30分~17時30分

場所: 関西大学千里山キャンパス(第4学舎4号館2階 4201教室)

参加登録不要: 直接会場にお越しください。

日本機械学会法工学専門会議では、自動運転技術を利用した自動車(2016年)、ドローン(2017年)の安全性をテーマとする模擬裁判を実施してきました。今回は、自動運転技術を応用した電動車椅子が衝突事故を起こしたという仮想事例を用いて、自動運転技術が高齢者、障害者等にもたらず利便性と、その他の通行者に対する潜在的危険性のバランスをどのようにとれば社会が納得するかということ、模擬裁判を通じて検討します。介護、福祉の分野にAIを含むロボット技術が応用されることにより、社会全体が受ける便益が向上することが期待されますが、機械が起こし得る事故を社会がどこまで受け入れるか、という問いに対する答えを探ります。



問合せ:

kkondo@tokyo.email.ne.jp

福田・近藤法律事務所

弁護士 近藤恵嗣

2018 日本機械学会 年次大会 市民フォーラム (法工学専門会議・関西大学法科大学院共催) ～法と経済で読み解く技術のリスクと安全～ 模擬裁判:「電動車椅子の安全性」を裁く

時間: 9月9日(日曜日) 13時30分～17時30分

場所: 関西大学千里山キャンパス (第4学舎4号館2階 4201教室)

(1) 仮想事故の態様と模擬裁判の狙い

近藤 恵嗣 (福田・近藤法律事務所・弁護士)

(2) AI・ロボット技術の介護・福祉分野への応用の現状と課題

～電動車いす開発の現場から～

高本 陽一 (株式会社テムザック・代表取締役CEO)

(3) 模擬裁判

裁判官役: 森 宏司(関西大学法科大学院・元大阪高裁部総括判事)
中村 哲(関西大学法科大学院・元大阪高裁部総括判事)
村上幸隆(関西大学法科大学院・弁護士(土佐堀法律事務所))

代理人役:

代理人役: 松木 俊明(弁護士((アーカス総合法律事務所))

原告側証人役: 未定

被告側証人役: 未定

アクセス

